



学校だより 9 月

“桜川 学びのエリア : 桜川中・桜川小”

令和7年9月1日
板橋区立桜川小学校
No.5



つながりを大切に



校長 八代 麻子

朝、子どもたち一人ひとりの表情や、気持ちのよい挨拶の声を見聞きして、2学期が始まったと実感しました。無事に始業式を迎えられましたのも、ご家庭や地域での温かい見守りのお陰です。心より感謝申し上げます。

10月25日の「創立70周年記念式典」が近付いてきています。まだまだ暑い毎日ですが、子どもたち、保護者・地域の皆様とともに、愛校心や地域愛にあふれた、一層「熱い」毎日になりたいと思います。今後とも、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

先週、CS（コミュニティ・スクール）委員会があり、「本校の教育活動の充実のために」というテーマの熟議に、教員も参加しました。年間指導計画を基にした、授業内容の説明・2学期以降の授業支援の相談を、低・中・高学年の各分科会で行い、情報も共有しました。CS 委員の方々からは、地域人材や区内施設、出前授業の紹介などの貴重な情報をいただき、教員は日々の授業の実際をお伝えして、ウィン・ウィンの場となりました。分科会の熟議の中で聞かれたのは「学習における基礎・基本、読む・書くなどの活動の大切さ」についてのご意見でした。一人一台端末の利便性や、ICT 活用による教育的効果は理解された上で、地道に学習を積み重ねて力を伸ばしていくことの重要性にも言及されていました。

こうした様々な意見をいただくことは、教育活動をよりよく進めていく際の新たな視点にもつながります。これまでも、本校への関心を寄せていただきながら「地域とともにある学校」として、70年という歴史を紡いできたのだらうと改めて思いをはせました。

子どもたちが安心でき、自信をつけ、地域に誇りをもって学校生活を送っていくことができるよう、引き続き努力を重ねてまいります。

【夏のひとコマ】

*7・8月下旬の計6日間、夏季補充教室を実施しました。教員とともに、ジュニアリーダーの皆さんも、子どもたちのために力を貸してくれました。つまずきやすい単元のプリント学習を中心に進めましたが、解き方のコツが分かる（思い出す）と、できた！という喜びも大きくなります。2学期以降の学習に生かしてほしいと思います。

（ジュニアリーダーの姿から、桜川 学びのエリアのめざす子ども像の一つである「地域の中で育ち、地域で活躍する子ども」も確実に育っていると嬉しくなりました。）

*おやじの会主催の「夏フェス」、PTA 主催の「水遊び」、寺子屋事業の「セミの羽化観察会」などの恒例イベントもありました。円滑な運営のために、関係する皆様の入念な準備がなされています。地域の中で、様々な体験活動の機会が得られるのは、本当にありがたいことです。

熱中症対策と並行して、感染症対策も確実に行っていく必要があります。手洗い・うがい、換気、水分摂取…。自分や周りの人たちの身を守るため、意識を高めて行動実践を促してまいります。また、子どもたちが心の健康を保持増進していくために、困ったこと・不安なことを一人で抱え込まず、SOS を出しやすい環境をさらに整えてまいります。